



千葉労働動員

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 { (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

92.10.27 No.3681

10月反戦連続闘争をやめぬ



10/21 国際反戦デー 戦前史的闘争

さらさらスラム固め 侵略阻止、反体制との対決へ

一〇月二二日、東京日比谷野音において反戦共同行動委員会主催による「一〇・二二国際反戦デー」の集会が行なわれた。また、同日関西反戦共同行動委員会をはじめ全国各地一〇箇所の一斉行動が行なわれた。一〇月一三日に自衛隊三六〇人のPKO本隊出兵が強行され、さらには一〇月二三日天皇が史上初の中国訪問強行を前にしたこの日の集会は、日本の労働者階級にとって極めて重要なものとしてあった。日の丸が本格的にアジアへの侵略を開始した情

勢下で戦争への加担者となるのか、それともアジアの人々と連帯し、真の平和を築き上げるのかの二者択一が迫られているのである。こうした情勢にも係わらず「連合」、総評センター・社会党は一〇・二二国際反戦デーそのものを完全に放棄した。このことは徹底的に弾劾されなければならない。集会は首都圏から、労組交流センター、部落解放同盟全国連、婦人民主クラブ等六八〇名が結集し、一〇・二三小牧闘争の勝利的展開の熱気のさめやまぬなか、反戦闘争をさらに強固なものとして闘いぬく決意を新たにしました。基調報告にたった東京労組交流センターの三角代表は、「排外主義を粉砕し、連合にとって変わる反戦闘争を構築しよう。」と訴えた。また、動労千葉を代表し、決意表明にたった田中書記長は「日本の歴史が大きく変わろうとしている。国際貢献という言葉で侵略戦争が開始された。戦前の歴史を教訓化し戦争反対の闘いを全力で闘う。また、



六八〇名の日比谷に結集

戦前の歴史を 教訓化しよう 11/22日比谷へ

一〇・二三には強制配転者の原職奪還にむけストにたつときっぱり表明した。一〇・二二勝利から一一・一部落解放共闘結成、一一・二二闘争の勝利を全組合員の総結集で闘い抜こう。

11.1 部落解放東日本共闘会議 結成大会を成功させよう

公然とした侵略戦争の開始は、国内において差別・排外主義を激化させる。その柱として権力は狭山闘争を解体し、部落解放運動を潰すことをとらして一気に差別的洪水をつくりだそうとしている。

この攻撃にたいして部落解放同盟全国連合会は、三月一日の結成以降、茨城県連を先頭に行政との窓口獲得に向けて奮闘し、九月二八日に窓口

を勝ちとるといふ勝利をかちとった。われわれは、この間、労働者階級と部落大衆との真の連帯を求めたたかかってきた地平にたつて、それをさらに発展させるために奮闘しなければならぬ。こうした立場から部落解放東日本共闘会議結成大会の圧倒的成功をかちとろう。



派兵反対！天皇訪中阻止！都心デモ開催